

WTW-TRC2432

取扱い説明書

はじめに

本製品をご購入いただきありがとうございます。
ご使用前には本取扱説明書をよく理解した上でご利用ください。

コピーライト

本取扱説明書は著作権保護対象となります。
文面または画像の複製は、製造者の書面による許可がある場合にのみ許可されています。

使用目的

これは、他の用途または記載された範囲を超えて使用することを意図したものではありません。
このデバイスは、商業または産業環境での使用を目的としたものではありません。
製造業者は、発生した損害について一切責任を負いません
誤った使用、無能な修理、不正な改造、または未認可の交換部品の使用に起因するものではありません。オペレータだけが責任を負います。
装置が屋外撮影に配置されると、天気の急激な変化はエラー記録につながる可能性があります。

警告

これらの操作手順では、次の警告が適用されます。

危険

この警告は、危険な状況を示しています。この状況を回避しなければ、死亡または重大な身体的傷害につながる可能性があります。

警告

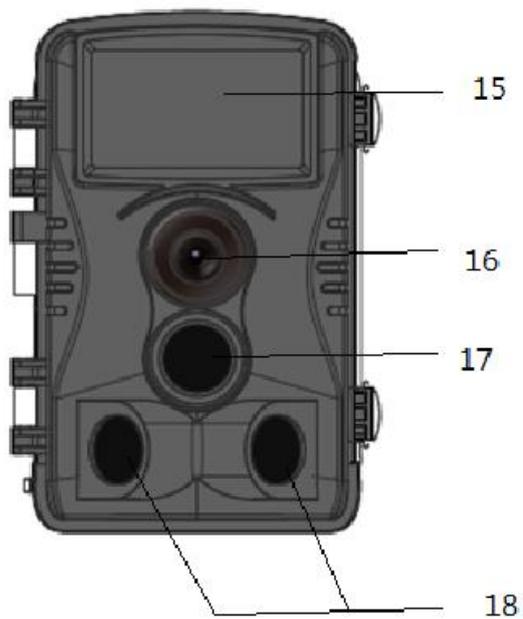
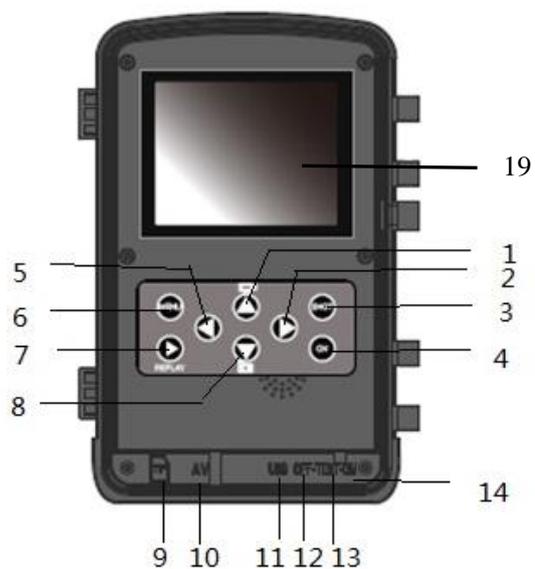
この警告は、潜在的に危険な状況を示しています。
この状況を回避しないと、物理的損傷につながる可能性があります。

注意

この警告は、財産への潜在的な損傷を示します。
この状況を回避しないと、財産が損害を受ける可能性があります。

コントローラー

1. 上
2. 右
3. 撮影
4. OK
5. 左
6. メニュー
7. リプレイ
8. 下
9. SD カードスロット
10. AV 入力
11. USB 入力
12. OFF
13. テスト
14. ON
15. IR LEDs
16. レンズ
17. 全面モーションセンサー
18. 側面モーションセンサー
19. スクリーン



本製品には SD カードは付属していません

電源供給

- ◆電池を交換するときは、すべての電池を交換してください。
古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆次に、電池カバーのひっかけを押して電池カバーを開きます。
- ◆単三電池 8 本を挿入します。
正しい種類の電池を挿入してください。充電式電池は使用しないでください
- ◆電池カバーを閉じて、カバーがカチッという音がするまで閉じてください。

- ◆アダプター（別売）を使用して装置を操作する場合は、アダプターケーブルの
プラグを外部ソケットに差し込みます
電圧 6V1A 供給してください。
アダプターを使用する場合は防水できませんので注意してください

ビデオ出力

- ▶カメラは、ビデオ信号を外部モニターまたはテレビのビデオ入力に転送できます。
- ◆付属の TV ケーブルを使用して、モニターを TV 出力に接続します。

ストレージメディアを挿入（本製品には SD カードは付属していません）

- ▶カメラには内蔵メモリーがないため、SD / SDHC メモリーカードを差し込んでください。
SD メモリーカードを挿入してフォーマットします。
- ▶このデバイスは、最大 32 GB（クラス 10）の SD / SDHC メモリカードに対応しています。
- ▶誤動作を避けるため、メモリーカードは湿気の多い場所に置かないでください。強い振動、埃、熱源、直射日光を避けてください
- ▶スロットにアイコンで示されているようにメモリカードを挿入します。メモリカードをスロットに無理に押し込まないでください。絶対に曲げたりねじったりしないでください。
- ▶SD メモリーカードがいっぱいになると、自動的に撮影を停止して映像を記録します。
- ◆ SD / SDHC メモリカードを取り外すには、メモリーのはみ出した端を押して、カードが少し飛び出してからカードを取り出します。
- ◆ SD / SDHC メモリカードをデバイスのスロットに挿入するには、カチッと所定の位置に収まるまでスロットに押し込みます。
- ◆ SD / SDHC メモリカードには誤った消去を防ぐためのロックシステムがあります。カードの書き込みアクセスを保護するには、カードの側面にあるスイッチを「LOCK」の位置にスライドさせます。

取り扱いと操作

この章では、デバイスの取り扱いと操作に関する重要な情報をお知らせします。

オン/オフ切り替え設定

電源を接続した後、操作モード選択スイッチを「TEST」の位置に動かして、コントロールパネルのボタンを使用して以下のページで説明する設定を行います。テストモードでは、赤外線ランプが off です。

- ◆ビデオから写真モードに切り替えるには、下ボタンを押します。
- ◆上のボタンを押して、写真モードからビデオモードに切り替えます。
- ◆ MENU ボタンを押して設定メニューを開きます。

上/下ボタンを押して目的のメニュー項目を選択し、OK ボタンで有効にします。設定を変更する場合は、必ず「OK」で変更を確定してください。

モード

モーション検知モードで写真やビデオを記録するかどうかを選択する「フォト+ビデオ」モードでは、カメラが最初に写真を撮影してから撮影を開始します。

写真解像度

1 MP、3 MP、5 MP、8 MP または 12 MP の写真サイズを選択します。解像度が大きいほど、画像は細かくなりますが、メモリーカードが保存できる高解像度画像の最大数は少なくなります。

連写

カメラが写真モードで起動されたときに連続して撮影する写真の枚数を選択します。シングルショットモード（写真 1 枚）に加えて、「2 枚の写真を撮る」または「3 枚の写真を撮る」ことができます。

ビデオ解像度

解像度は 1920×1080P、1280×720P、720×480P、640×480P、320×240P のいずれかを選択します。解像度が高いほどメモリーカードの容量制限が少なくなります。

ビデオの時間

上下ボタンを使用して、録画が開始されたときのビデオ録画の長さ（1~60 秒または 1~10 分の間）を選択します。録画時間が長いほど、動作時間が短くなります。プリセット動画の長さは 30 秒です。

録音

録画中に音声を録音できます。

ショットラグ

上下ボタンを使用して、最初の録画後にメインセンサーに変更する前の最小時間を選択します。選択した間隔で、カメラは画像やビデオを記録しません。同じイベントの記録が多すぎると、5～60 秒か 1～60 分の間で選択できます。

側面運動センサー

テストモードでは、最適な露出角度とモーションセンサーの範囲を設定することができます。

▶調整時には、サイドモーションセンサーの使用を推奨します。

サイドモーションセンサーを有効/無効にすることができます。

カメラを次のように調整します。

監視場所 1-2 メートルほどの所定の場所にカメラを設置します。

青色で点灯している場合は、サイドモーションセンサーで検出されています。赤色で消灯している場合は、フロントモーションセンサーで検出されています。

モーションディスプレイは、操作モード選択スイッチが TEST 位置にあり、モーションセンサーの 1 つが動きを検出したときのみ点灯します。通常の操作では、LED ディスプレイは表示されません。

カメラが不適切な動きをしないようにするには、直射日光の当たるところや風で動くような枝の近くに設置しないでください。センサーの記録角度は約 100° です。写真やビデオの記録範囲は約 89° です。

モーションセンサー感度

ここではメインモーションセンサーの感度を設定しますが、風が吹いているような環境では、「高」を選択してください。「High」は暖かい周囲温度に適しており、「Low」は寒冷環境に対して選択されている必要があります。

監視時間帯

一定時間カメラを有効にする場合は、「オン」を選択します。表示される画面メニューでは、アクティブフェーズの開始時間と終了時間を設定できます。

上/下ボタンを押して、アクティブフェーズの開始時間を設定します。

次に、右ボタンを使用して次の項目に切り替えます。上/下ボタンを押して、アクティブフェーズの開始時間と終了時間を設定し、右ボタンを使用して次の項目に切り替えます。

カメラは、アクティブフェーズの外の画像は記録しません。

OK ボタンで選択を確定してから、MENU ボタンを押してこのサブメニューを閉じます。

タイミング間隔

設定した間隔でカメラが自動的に写真を撮る機能を利用すると、植物の開花などを観察したい場合などに便利です。[OK]ボタンで[オン]を確認したら、希望の時間間隔を設定します。

上/下ボタンを押して、希望の時間間隔の時間を設定します。

次に、右ボタンを使用して次の項目「分」に切り替えます。上/下ボタンを押して、希望の時間間隔の分を設定します。

次に、右ボタンを使用して次の項目「秒」に切り替えます。上/下ボタンを押して、希望の時間間隔の秒数を設定します。

OK ボタンで選択を確定します。その後、MENU ボタンを押してこのサブメニューを閉じます。

言語

ここでは、メニュー言語として英語、ドイツ語、フィンランド語、スウェーデン語、デンマーク語、フランス語、イタリア語、オランダ語、スペイン語またはポルトガル語を設定できます。

時刻と日付

ここでは、日付形式 (YYYY / MM / DD、DD / MM / YYYY または MM / DD / YYYY)、時間形式 (12/24 時間)、および時間と日付を設定できます。 / ボタンで選択した値を変更します。[OK] ボタンで設定を確認します。

写真上の透かし

写真をタイムスタンプで保存するかどうかを選択することができます。スタンプを時間と日付から構成するかどうか (デフォルト設定) または日付だけを選択できます。

パスワード保護

パスワードを使用して不正なアクセスからカメラを保護する場合は、「オン」を選択します。次の画面メニューでは、4桁の組み合わせを設定できます。

上/下ボタンを押して0~9の最初の桁を選択します。次に、右のボタンを使用して次の項目に切り替えます。上/下ボタンを押して、0~9の2番目の数字を選択します。その作業を繰り返し3桁目4桁目を設定してください。

OKボタンで選択を確定してから、MENUボタンを押してこのサブメニューを閉じます。

本製品を操作する前にTESTモードでカメラの電源を入れるたびに、設定された番号の組み合わせを入力する必要があります。

番号の組み合わせを忘れてしまった場合は、次のように操作してカメラのロックを解除し、工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

- ◆ 電源スイッチをOFFにします
- ◆ 操作ボタンのMENUとREPLAYを押したままモード選択スイッチをTESTにして起動する。
- ◆ パスワードを無視した状態で起動しますのでメニューでパスワード保護のメニューに入りパスワード保護をオフにするかオンにしてパスワードを確認または変更してください

メモリカードを初期化

まずメモリカードをフォーマットしてください。[OK]をクリックして[はい]を選択します。ボタンを押してプロンプトを確認し、フォーマット処理を開始します。カードのフォーマット中に「Please wait」というメッセージが表示されます。

設定リセット

「はい」を選択し、次のプロンプトで選択バーから/ボタンを使用して「OK」にスライドさせてから、OKボタンを押すと、以前に作成されたすべてのカメラ設定が削除されます。

ライブモード有効

このモードでは、モーションセンサーを介して録画されます。

ライブモードを設定するには、操作モード選択スイッチを

“ON”にします。数秒後モーションディスプレイの赤色 LED が消灯します。

その後、カメラが独立して動作し、スタンバイモードに入ります。野生動物などが中央センサーゾーンの検出範囲に入ると、カメラは写真やビデオの撮影を開始します（設定に応じて）。

野生動物がサイドモーションセンサーの検出範囲に入ると、モーションが検出され、カメラが作動します。

野生動物がフロントモーションセンサーの前で動き続けると、カメラは写真やビデオの撮影を続けます。

野生動物がサイドモーションセンサーの検出範囲を離れると、カメラはスイッチを切ってスタンバイモードに戻ります。

夜間暴露

夜間には、カメラの正面にある赤外線 LED が必要な光量を確保し、広い角度で LED を発光させるため、3m から 20m の距離で撮影することができます。

録画を画面に表示する

録画を画面に表示するには、カメラとツリーマウントを接続しないでください。

操作モード選択スイッチを「TEST」の位置にスライドさせると、カメラのライブ画像が表示されます。replay ボタンを押すと、メディアの再生が有効になります。

上/下ボタンを使用して録画をスクロールし、ディスプレイに表示することができます。

ディスプレイ上の画像を拡大するには、左ボタンを押します。縮小するには、右ボタンを押します。

画像がズームされている場合は、対応するズーム率もディスプレイに表示されます。

現在選択されている録画がビデオの場合は、右ボタンを押してビデオを再生し、もう一度右ボタンを押すとビデオが停止します。

左ボタンを押すと、ビデオは最初に後方に移動します。

MENU ボタンを押すと、設定メニューが開きます。

3 分以内にオプションを選択しないと、メニューは自動的に閉じます。

◆上下ボタンを押して目的のメニュー項目を選択し、OK ボタンで有効にします。メニューボタンを使用して、メニューレベルを逆方向にナビゲートします。

現在のファイルを削除する

メモ리카ードから個々の録画を削除することができます。この機能呼び出した後、選択バーを“削除”に移動し、OK を押して選択した録音を削除します。

全てのファイルを削除する

この機能を使って、すべての録画をメモ리카ードから削除することができます。選択バーで“削除”を選択し、OK を押してすべての録音を削除します。

書き込み保護

個々のファイルやすべてのファイルを誤って削除しないように保護することができます。

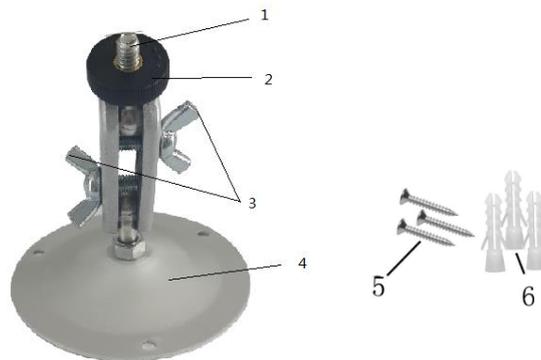
- ◆現在選択されている録画を誤って削除しないようにするには、「現在のファイルの書き込み禁止」を選択します。
- ◆保存したすべての録画を誤って削除しないようにするには、「すべてのファイルを書き込み禁止にする」を選択します。
- ◆現在選択されている録画の書き込み保護を解除するには、「現在のファイルのロック解除」を選択します。
- ◆保存したすべての録画の書き込み保護を解除するには、「すべてのファイルのロックを解除する」を選択します。

ウォールブラケットの使用

付属の壁掛けブラケットを使用して壁や木にカメラを取り付けることができます。壁掛けブラケットを取り付ける前に、既存のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

構造

- 1 三脚ねじ
- 2 ロックナット
- 3 ピボットボルト
- 4 ネジ穴
- 5 ネジ
- 6 プラグ



ウォールブラケット

必要工具

- ドリル
- コンクリートドリルビット
- プラスドライバー

注意

- ▶取り付け場所に電気配管、水道または加熱配管が設置されていないことを確認してください。
- ▶付属のウォールプラグは、コンクリートまたは板に取り付ける場合にのみ適しています。取り付けする前に、設置場所を慎重に決めてください。
- ◆ウォールブラケットのドリル穴をマークします。取り付け位置と穴の位置をマーキングする。
- ◆必要な穴を開けるために 6 mm のドリルを使用し、プラグを差し込み、壁面と同じ高さの壁面プラグを差し込みます。
- ◆付属のネジを使用してウォールブラケットを壁面に固定します。
- ◆三脚ねじにカメラを取り付けます。
- ◆カメラを希望の方向に回し、ロックナットで固定します。
- ◆カメラの位置を動かすには、2 本のピボットボルトを少し緩めて、カメラの位置を移動し、再び 2 本のピボットボルトを締めて固定します。

外部モニターで録画を表示する

付属のビデオケーブルのミニジャックプラグをカメラの TV 出力ソケットに接続し、もう片方のプラグを TV などのビデオ入力に接続します。ミニジャックプラグが TV 出力ソケットに接続されると、カメラ側の画面が無効になり、TV 出力端子から画像が再生されます。操作モード切換スイッチは TEST 位置に設定する必要があります。

コンピュータに転送する

付属の USB ケーブルのミニ USB プラグをカメラの USB ポートに接続し、USB プラグをコンピュータの USB 2.0 ポートに接続します。デバイスが「大容量ストレージ」として認識されます。カメラがコンピュータに接続され、SD / SDHC メモリカードの内容が新しいドライブとしてコンピュータに表示されます。

お手入れ

デバイスへの損傷

- ▶損傷を避けるため、掃除する際は液体や水分などが本体に濡れないように注意してください。
- 柔らかい、乾いた布で本体の表面を掃除してください。頑固な汚れを取り除くには、市販の洗剤と水を使用してください。本体に水が入らないようにしてください。
- 電源アダプターの接続ソケットを保護するシールは、常に清潔に保ってください。